

資料 農 1

令和3年 トキの分散飼育の状況等について

1. 令和3年 トキの分散飼育の状況について

○国のトキ野生復帰検討会の方針に基づき、『自然繁殖（自然ふ化、自然育雛）』を基本として、B Yペア、B Zペア及びC Lペアの計3組（6羽）で繁殖に取り組んだ。

○令和3年の繁殖期には、3月29日に初の産卵を確認したあと、計15個の産卵があり、3羽のヒナがふ化した。

令和3年繁殖結果						単位（個・羽）
	産卵数	有精卵	うち中止	無精卵	不明	ふ化数
B Yペア	5	2	1	1	2	0
B Zペア	4	3	3	1	0	0
C Lペア	6	4	1	2	0	3

※不明とは、破卵・巢外投棄・腐敗などにより、有精無精の判定ができなかったもの。

※中止とは、有精卵だったが、ふ化に至らなかったもの



2. 一般公開施設 通年公開の状況
 入場者数

令和2～3年度				令和元年度			
月	開館日数	来場者数	平均	月	開館日数	来場者数	平均
～12月	159日	9,934人	62人	～12月	155日	16,634人	107人
1月	24日	695人	17人				
2月	24日	2,297人	96人				
3月	26日	2,173人	84人				
2年度計	233日	15,099人	65人				
4月	27日	2,829人	105人				
5月	27日	5,535人	205人				
R1～2年	1日あたり	平日最高 221人 (R1.9.27)				休日最高 526人 (R1.9.16)	
R3年	1日あたり	平日最高 159人 (R3.5.13)				休日最高 1,002人 (R3.5.3)	

3. 「出雲市トキによるまちづくり構想」の更新について

(1) 更新の趣旨

環境省においては、今後5年間の国全体のトキ保護増殖事業の方針についてまとめた「トキ野生復帰ロードマップ2025」（以下、「ロードマップ」）を公表予定。

ロードマップでは、2030～2035年頃の中長期的目標として「本州でもトキが定着し、繁殖できるようになる」ことが掲げられ、今後5年間で本州での放鳥の実現可能性、実施要件についての考え方を整理するとされている。

このことを踏まえて、本年8月に策定から10周年を迎える「出雲市トキによるまちづくり構想」を、2030年を目標にトキが野生復帰できる環境づくりを目指す内容に更新する。

(2) 更新に向けてのスケジュール

更新については、今後、出雲市トキによるまちづくり推進協議会を2回程度開催し、パブリックコメントを経て11月頃までに決定する予定としている。

4. 出雲・雲南地域生物多様性連携保全活動について

令和元年度から県・雲南市と共同でトキ・コウノトリのための生態系ネットワーク事業を行っている。引き続き、令和7年度まで活動していく予定としている。

活動内容

(1) コウノトリやトキとともに生きる環境づくり

- ・生きものを育む農業の推進
- ・田んぼビオトープの推進

(2) 自然環境の把握

- ・専門的な方法による定点調査
- ・簡易な方法による広域調査

(3) 豊かな自然や活動の情報発信

- ・共感を広める情報発信
- ・理解を深める学習会等の開催

(4) 環境を通じた交流促進

- ・体験型交流イベントの開催

